

「カッコイイ」パパはなぜ「デキル」パパ？

サンコウチョウの3タイプの雄の比較

申告者 大井 沙綾子

サンコウチョウは日本に夏鳥として飛来する鳥です。
その優雅な姿から、バードウォッチャーの憧れの的となっています。
一般的に雌は背中が茶色、雄は黒紫色で長い尾羽を持っています。

しかし 実は雄には3タイプの形態が存在します。



長雄
背中が黒紫色で尾羽が長い



黒短雄
背中が黒紫色で尾羽が短い



茶短雄
背中が茶色で尾羽が短い

この3タイプはいずれも繁殖能力があることがわかりました。
しかし、日本のサンコウチョウではこの3つの形態が生じる原因はわかっていません。
また、2013年度の調査により、長雄は他の2タイプに比べて繁殖能力が高い可能性が示唆されました。

2014年度の調査で明らかにしたいこと

- ・3タイプは年齢依存であるのか、その他の要因で決定されているのか
- ・年齢依存であった場合、どのような年齢段階で形態が変化するのか
- ・3タイプの雄の優劣関係はどのようになっているのか
- ・長雄の繁殖成功はなぜ他の2タイプに比べて高いのか

これらを明らかにし、
この3タイプの雄の関係や
繁殖行動の違いを見ることは
二型や遅延羽色成熟の意義を
知ることにつながります。



遅延羽色成熟…繁殖可能な年齢であるにもかかわらず、羽色が成鳥のものに達していない現象。
意義について明確には明らかになっていない。

調査地 沖縄県宮古島市大野山林

調査期間 2014年4月～8月

調査内容

①3タイプの雄の羽色や尾の長さの変化を調べます。

かすみ網を用いた捕獲により、2013年度の調査で識別した個体の羽色と尾の長さの変化について調べます。

また、追跡個体数を増やすため、識別されていない個体の計測と識別を行います。

②3タイプの雄の社会的地位を調べます。

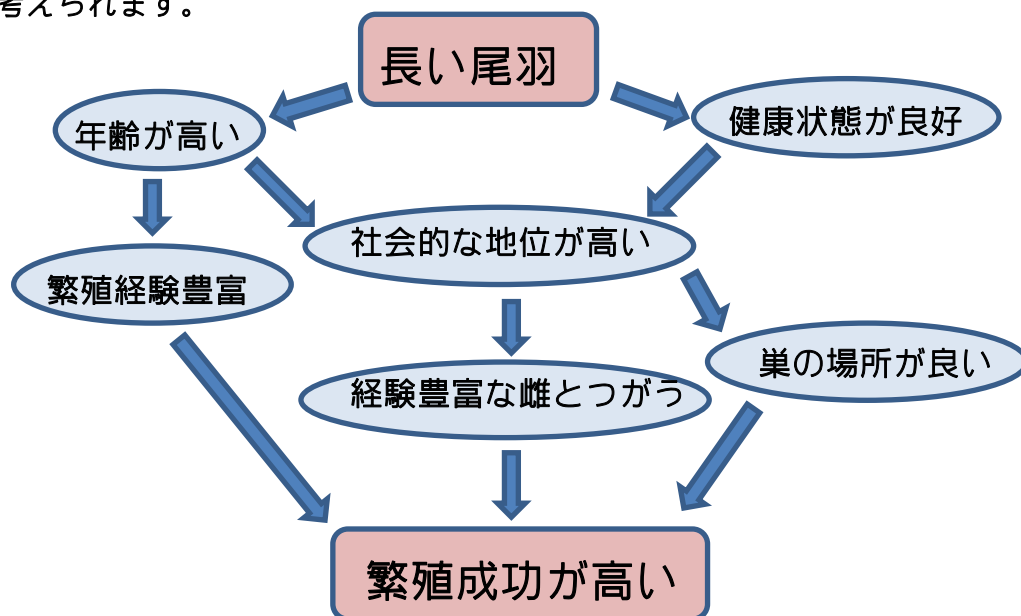
それぞれの雄のデコイをなわばり内に起き、それに対する反応の記録を行います。

③3タイプの雄の繁殖行動の特徴を調べます。

巣のビデオ撮影と定期的な観察により、3タイプの繁殖への貢献度や繁殖行動の違いを比較します。

予想される結果

長い尾羽をもつ個体の繁殖成功の高さには、次の図のような関係が成り立っていると考えられます。



長い尾羽は、年齢依存の場合と健康依存の場合の2つが考えられます。

年齢依存の場合は、標識個体の経年的な追跡によって変化の様式が明らかになります。いずれにせよ、長い尾羽をもつ個体は社会的な地位が高くなり、デコイに対して攻撃性が高くなると予想できます。その結果、繁殖経験の豊富な雌とつがい形成をしたり、天敵に見つかりにくい場所に巣を構えたりすることが可能となります。よって長雄を取り巻く環境によって繁殖成功が高くなると結論づけることができます。

また、長い尾羽が年齢依存の場合、長雄自身の繁殖の経験が豊富なためにそれを活かした繁殖行動が可能になり、長雄自身の能力によって繁殖成功が高くなります。

→おそらく長い尾を持つ「カッコイイ」個体は、社会的に上の立場にあり子育てが上手な「デキル」個体なのだろう。